

「高尾山口駅周辺地区都市計画方針（素案）」についての

パブリックコメント実施結果

平成 28 年 3 月
八王子市都市計画部都市計画課

「高尾山口駅周辺地区都市計画方針（素案）」について、平成 28 年 1 月 4 日から 2 月 9 日のパブリックコメント期間中に皆様からいただいたご意見とともに市の考えをとりまとめました。貴重なご意見をいただきありがとうございました。

1. パブリックコメント手続きの概要

(1) 実施概要

- ・実施期間：平成 28 年 1 月 4 日～2 月 9 日（37 日間）
- ・周知方法：広報はちおうじ（平成 28 年 1 月 1 日号）、市ホームページ
- ・資料配布：市役所（都市計画課、市政資料室）、各事務所・市民センター・図書館
高尾 599 ミュージアム、市のホームページ
- ・意見提出方法：直接持参、郵送、ファックス、Eメール

(2) 素案説明会

- ・平成 28 年 1 月 17 日（日）午前 10 時～午前 11 時 30 分 参加者 3 名
- ・平成 28 年 1 月 19 日（火）午後 7 時～午後 8 時 30 分 参加者 11 名

2. 意見の概要

(1) 意見の提出状況

- ・提出者数：15 人
- ・意見数：55 件

(2) 意見等の分類と件数

意見分類	意見数（件）
① 市街地整備、都市景観に関する意見	10
② 自然環境に関する意見	5
③ 道路・交通に関する意見	16
④ 観光、地域資源の活用に関する意見	8
⑤ 水辺環境の整備に関する意見	2
⑥ 災害対策に関する意見	3
⑦ 官民協働、合意形成に関する意見	4
⑧ 方針全体に関する意見	2
⑨ その他 マナーに関する意見	5
合計	55

3. 意見の要旨と市の考え方

①市街地整備、都市景観に関する意見（10種類 10件）

NO	件数	意見の要旨	
1	1	・住宅や施設が更新時期にあり、跡地が空き地または繁忙期以外使われない駐車場になる等、このままでは地域の過疎化が一段と進むことが懸念される。	<p>市街地整備については、賑わいと暮らしやすさが共存する土地利用の推進を目指しています。</p> <p>またエリア別の方針において「賑わい創出ゾーン」「生活サービス誘導ゾーン」「住環境保全ゾーン」を示しており、そのゾーニングに沿って土地利用誘導を進めていく考えです。</p> <p>具体施策として「施策1-1：高尾山口駅や参道周辺の『高尾山の玄関口』としての土地利用誘導」や「施策1-2：自然、商業や住宅等の均衡のとれた土地利用誘導」を示しており、地域住民等の意向を踏まえながら地区にふさわしい土地利用誘導について具体的な検討を進めていく考えです。</p>
2	1	・高尾山口駅と高尾山周辺にもう少し多くのお店や商業施設を誘致してほしい。	
3	1	・甲州街道の高尾駅から高尾山口駅間に賑わいを演出し、徒歩での往來を増やすことが重要。現在も若年層の個店進出があり、箱物主体の企業誘致では実現できない文化圏情勢の兆しがある。今後さらなる機会創出支援が必要。	
4	1	・高尾の自然素材を元にした、地域発信の「ものづくり文化」の醸成促進を。和紙文化、ビール（発泡酒）づくりなど。この地域は行きやすい環境にある。	
5	1	・宿泊施設など、高尾山周辺への来訪者の滞在時間を延ばすことで旅先としての価値を持たせることができると思う。ただし新しい施設をつくるのは難しいため、市民の保有する遊休資産を利用して、高尾山口を中心としたシェアエコノミーを促進してはどうか。	
6	1	・人を呼べば地元が繁栄するという考えは将来的にマイナスではないか。観光開発計画は避けてほしい。	
7	1	・高尾山周辺のラブホテルは高尾山に相応しくなく、これら無くし、より多くの外国人を受け入れるためにも一般のホテルを誘致してほしい。	
8	1	・高尾山口駅前にラブホテルは相応しくない。様々なノボリが建っていて子供が間違えてしまわないか心配。健全なイメージを打ち出していくことが大切。	
9	1	・自然公園内や周辺はその景観にふさわしい広告物の掲示をしてほしい。ラブホテルや店舗の派手な看板、広告が多すぎる。	
10	1	・自然と一体感のある街並みとしていくためにも、民家の庭や共有地の路地へのハーブや果樹の植樹支援を行うのがよいのではないか。	

			景観について具体的な検討を進めていく考えです。
--	--	--	-------------------------

②自然環境に関する意見（3種類 5件）

NO	件数	意見の要旨	市の考え方
1	1	・対象地域の自然環境への配慮は不可欠。	<p>自然環境に関しては、高尾山の豊かな自然環境を保全し、観光交流・レクリエーションの資源として活用するとともに、適切な維持管理を図るとしています。</p> <p>今後は、いただいたご意見を参考に、都立高尾陣場自然公園の管理者である東京都と連携しながら、自然環境の保全などに取り組んで参ります。</p>
2	1	・高尾山の自然を大切にし、これ以上コンクリートの登山路整備を増やさないでいただきたい。	
3	3	・高尾山はオーバーユース。自然環境を守るため入山規制が必要と考える。	

③道路・交通に関する意見（15種類 16件）

NO	件数	意見の要旨	市の考え方
1	1	・5月や11月のシーズン期間の土日祝日のマイカー渋滞を解消してほしい。地域の日常生活に大きな障害となっている。	<p>道路・交通については、観光や地域コミュニティを支える交通体系の充実化など、道路ストックなどを活用した利便性・快適性の向上を推進するとしています。</p> <p>具体施策として「施策2-1 観光客の自動車交通等対策」を示しており、施策を進める中で観光シーズンの渋滞や駐車場の問題など、地域住民等の意向を踏まえながら具体的な検討を進めていく考えです。</p>
2	1	・シーズン時の駐車場を探す自動車が事故を起こさないか不安。高尾のイメージが悪くなるため早急に対策をお願いしたい。	
3	1	・駐車場問題など近くの民家に誘導している現状は問題が発生しないか不安。	
4	1	・公設の駐車場を倍以上確保する必要がある。地下駐車場や2階建ての駐車場など。	
5	1	・高尾山口駅前の駐車場を立体駐車場にして、より多くの車が駐車できるようにしてほしい。	
6	1	・高尾山周辺のこれ以上の駐車場増設はせず、訪問者の自家用車利用制限、公共交通の利用を促進する取組みが必要。	
7	1	・ハナフジ（旧旅館）跡や分校を駐車場利用に活かしてほしい。ハナフジ跡は商業施設のある駐車場として整備してはどうか。かつての賑わいのある国道20号沿いを期待したい。	
8	1	・南浅川町は市内でも特に高齢化が進んでおり、生活の足の確保が最大の課題である。八王子南バイパスを利用したバスルートの運用、高尾駅から高尾山口、南浅川大平、医療センターを結ぶバスルートを考慮してほしい。	

9	2	・南浅川町は公共交通機関が不足しており、地区の活性化は住民の移動空間の確保が最優先と考えるので、有効策を講じてほしい。	しており、地域住民等の意向を踏まえながら、生活の足の確保など、具体的な検討を進めて参ります。
10	1	・JR 中央線を高尾駅から高尾山入口まで地下方式で延伸して、高尾駅での乗り換えの負担を減らすよう交通整備の対応をしてほしい。	本方針において、観光や地域コミュニティを支える交通体系の充実化を進めています。 鉄道の延伸等につきましては、山に囲まれた地形上の制約や自然環境の保全などの観点からの検討や鉄道事業者との合意形成が必要と考えています。
11	1	・京王線の高尾山口行・新宿行が北野での乗り換えなし、特急の本数を増やす等利便性が高まってほしい。	
12	1	・京王線高尾山口駅から津久井までの路線延長を考えてほしい。	
13	1	・大平～小柏木間に歩道がなく、案内川側に歩道ができるといいと思う。	
14	1	・南浅川地区からの登山ルートを考える上でも国道 20 号の歩きやすい歩行者環境づくりが大切。少なくとも居住者がいる場所までの歩道設置を考えてほしい。	本方針において、地区内の安全で歩きやすい歩行空間の整備を進めています。 具体施策として「施策 2-2：地域の暮らしやすさを支える交通環境の整備」を示しており、施策を推進する中で、道路管理者など関係機関と協議・調整しながら、安全に移動できる歩行者環境整備を推進する考えです。
15	1	・歩きやすい歩道の整備について、どこをどう直すか具体的な提案と合意に向けた手立てが必要。提案を地域町会と作り、「見える化」して意見を聞いてほしい。	

④観光、地域資源の活用に関する意見(6種類 8件)

NO	件数	意見の要旨	
1	2	・高尾 599 ミュージアムについて、住民参加の委員会をつくり内容と運営体制を検討して市民や観光客から充実した施設となるよう取り組んでほしい。	本方針において、高尾 599 ミュージアムを活用した観光交流及び地域交流の場づくりを推進するとしています。 具体施策として「施策 2-4：高尾 599 ミュージアムを核とした体験・交流活動の推進」を示しており、地域住民や民間事業者と協働で、高尾 599 ミュージアムを利用したイベントや地域資源を活かした多様な観光交流プランの検討などを進めていく考えです。 高尾 599 ミュージアムの施設運営については、学識経験者や地元団体、公募市民からなる高尾 599 ミュージアム連絡会が設置され、円滑な施設運営について、意見交換が行われております。
2	1	・高尾 599 ミュージアムでのイベントの開催を提案。国連大学前でのファーマーズマーケットなどを参考に、おしゃれな雰囲気イベントなど、山登りをしない人でも遊びに来るきっかけとなるようなことを、まず簡単にできるところからでも取り組んでほしい。	
3	1	・高尾山登山者のレポートを促進するよう、ポイント制を導入し、回数に応じて認定書を発行するなど、やる気の高揚・記念となる取り組みを考えてほしい。	
4	1	・市内に多くの観光客の経済的波及効果をもたらすため、高尾山の帰りにぜひ立ち	

		寄りたいという八王子市の魅力を高めるための施策を組み込むことが望まれる。	が高まりました。今後とも八王子市の魅力を積極的に発信し、高尾山と八王子市内の連携を強めて参ります。
5	2	・関東ふれあいの道（首都圏自然歩道。梅の木平を起終点とした総延長 1,799km、全 160 コースの長距離自然歩道）をPRしてほしい（看板の設置など）。	本方針において、豊かな自然環境を活かした魅力ある交流の場を創出するとしています。 また具体施策として「施策1-3:地域資源をつなぐネットワークの構築」を示しており、いただいたご意見を参考に、地域資源を活かした取り組みを推進していく考えです。
6	1	・高尾山 IC 付近には込縄という集落があり、その協力があつたが為に現在の IC がある。小説姿三四郎に関わる土地であり、込縄という地名と集落があつたことを後世に残すため石碑の設置を考えてほしい。	

⑤水辺環境の整備に関する意見（2種類 2件）

NO	件数	意見の要旨	市の考え方
1	1	・案内川の整備が必要。ゴミすて等がない、国道 20 号から川の流れが見える水辺環境になってほしい。	水辺環境については、案内川や水路など水辺空間を活かした水辺のネットワークの形成を図るとしています。
2	1	・水辺環境の整備は賛成。水辺の木道や親水公園、599 ミュージアムあたりで水辺に降りることができる場など、自然環境や防災などの専門家の意見を聞き、回遊できる遊歩道とあわせて検討してはどうか。	具体施策として「施策2-3:案内川及び周辺の水辺環境整備」を実施していく中で、河川管理者の東京都や国道管理者の国など関係機関と協議・調整しながら、いただいたご意見を活かして参ります。

⑥災害対策に関する意見（3種類 3件）

NO	件数	意見の要旨	市の考え方
1	1	・老朽化した橋梁など、河川構造物等の計画的かつ迅速な改修が必要。また、傾斜地や河川周辺の安全対策の実施が必要。	本方針では、災害に強い安全な市街地の形成に向けて、災害履歴やリスクを考慮した適切な土地利用誘導や、土砂災害対策等を推進するとしています。
2	1	・市の緊急放送が聞こえない家庭があり、スピーカーを増やしてほしい。	また、高尾 599 ミュージアムは八王子市地域防災計画で災害時の帰宅困難者の一時滞在施設として指定されており、観光客を含めた警戒避難体制や、地域住民や事業者など地域全体の協働体制を構築して参ります。
3	1	・災害時の住民及び観光客を収容できる緊急避難施設など、高尾山地域全体の救難拠点としての機能整備を国、都との役割分担を含めて計画に組み込む必要があると考える。	

⑦官民協働、合意形成に関する意見（４種類 ４件）

NO	件数	意見の要旨	
1	1	<ul style="list-style-type: none"> ・計画対象地域は狭隘な溪谷で立地条件の制約があり、生活環境や産業振興、自然景観の保全等の検討において何を優先すべきかの判断を迫られることもある。その際には判断基準や理由を明らかにして、十分な話し合いの上で利害関係者の理解を求める必要がある。 	<p>本方針において、施策を推進していくための基本的な考え方として、地域住民、関係団体、民間事業者など地域に関わる各主体の協働によって取り組むこととしています。今後の施策の実施にあたっては、様々な観点から検討することが重要だと考えています。</p>
2	1	<ul style="list-style-type: none"> ・抽象的で具体性が見えない。もう少し具体的な取組みやワークショップでの提案などを示してほしい。例えば空地での貸農園をつくってその効果を検証するなど地元で提示して意見を聞く、といった取組みなど提案の見える化をしてほしい。30年後、50年後の住みやすいまちを展望するなら時間と手間をかけて住民の合意形成を図りながら取り組んでほしい。 	<p>本方針において、施策を推進していくための基本的な考え方として、「地域住民、関係団体、民間事業者など地域に関わる各主体の協働」「できそうなことから試行的に始め、段階的にステップアップ」などとしています。</p> <p>今後は地域住民等の意向を踏まえながら、ワークショップでの提案など、できることから取り組みを進めていく考えです。</p>
3	1	<ul style="list-style-type: none"> ・地権者の力が大きく働くエリアであり、市民参入の妨げにならないよう、行政からの働きかけで市民中心の街づくりが行える体制、市民中心の街づくり会議などの仕組みを整えていくべきと考える。 	<p>本方針の策定にあたり、地域の住民を対象にしたワークショップを実施し、多くのご意見をいただいております。</p> <p>また施策を推進していくための基本的な考え方として、地域住民、関係団体、民間事業者など地域に関わる各主体の協働による取り組みを基本としており、適切に市民の参入が進むよう働きかけて参ります。</p>
4	1	<ul style="list-style-type: none"> ・後追的に都市計画方針が出されても晴天の霹靂。強い関心を持つ人でないと関われない仕組みが問題。対象地域の住民対象にアンケートを実施すべき。 	<p>本方針の策定にあたり、懇談会や地域の住民を対象にしたワークショップを実施し、多くのご意見をいただいております。</p> <p>今後とも具体施策を実施するにあたり、住民の意向を把握しながら進めて参ります。</p>

⑧方針全体に関する意見（２種類 ２件）

NO	件数	意見の要旨	
1	1	<ul style="list-style-type: none"> 背景の文章にある地域コミュニティの活力低下は、少子高齢化に伴うものではなく日本全体の社会・経済のひずみからくるもの。地域コミュニティがあるからこそ、お年寄りがその地域に長く住み続け、地域が高齢化している。 	<p>少子高齢化により次世代のまちづくりを担う若年人口の減少など、人口動態の大きな変化とともに、住民のライフスタイルも変化しており、都市づくりにおいても大きな転換期に直面していることから本方針を策定しています。</p> <p>策定の背景・目的についての的確な表現となるよう表現を一部修正いたします。</p>
2	1	<ul style="list-style-type: none"> 将来像の表現について、一般的な自然というよりもっと踏み込んだ表現を。観光交流とくらしの調和について、観光交流が暮らしを圧迫又は破壊しないようにする必要があり、調和という表現を再検討してほしい。 	<p>観光交流と良好な住環境が共存する都市づくりを目指していることから、地区の将来像を「高尾山の自然と歴史文化を守り活かし、観光交流と暮らしが調和するまち」としています。</p>

⑩ その他 マナーに関する意見（３種類 ５件）

NO	件数	意見の要旨	市の考え方
1	1	<ul style="list-style-type: none"> マナーを守らない人に処罰規定を作してほしい。 	<p>本方針において、豊かな自然環境を保全し、観光交流・レクリエーションの資源として活用するとともに、適切な維持管理を図るとしています。</p> <p>また「東京都自然公園利用ルール」の中で、喫煙やペットを連れた登山など具体的な登山客のマナーについて示されています。</p>
2	3	<ul style="list-style-type: none"> 植物の一種ずつの個体数は少なく、少しの影響が大きな変化を引き起こすため、自然の多様性や野生動物を守るためにも小動物、ペットを携行しての入山は原則禁止してほしい。 	
3	1	<ul style="list-style-type: none"> 高尾山口周辺の路上喫煙を禁止してほしい。 	